

支部だより

支部長挨拶

九州歯科大学同窓会

大阪府支部

支部長 鳥羽英紀



昨年は在阪各歯科大学同窓会友会の当番校として無事その大役をなし得ましたのは、同窓の諸先生の絶大な御協力のおかげでございます。誠に有難うご座居りました。

さて21世紀に突入して早や半年が過ぎ、高齢化社会に伴う数々の難問が打ち寄せてまいりました。振り返れば三十年前、大阪万博開催の年、日本は世界の高齢化社会の仲間入りをしまし

た。このまま進みますと、後五六年で世界一に成ると云われています。

長寿、健康情報、健康産業のはんらんは、長寿と健康の素晴らしい時代に成っているかの様にみえます。しかしその内面は、医療の現場からみつめますと、どの医療機関も高齢者の長蛇の列であります。

長寿、これは、健康な長寿と認識している方が多い様に思わ

平成13年 8月23日
第 3 号

発行人
九州歯科大学同窓会
大阪府支部
鳥羽英紀
大阪市大正区平尾5-18-13
TEL 06(6551)0565
FAX 06(6553)4100

れます。大変な『さっかく』と云う外はありません。又、未だ治療の方法がつかめない病、早期発見のみが完治の方法である病、未だ発病の原因が不明であるがため治療方法がない病。新しい病が人類の進化に伴い出現しています。

ところで、私達人間は生きるためにまず食物を摂取しなければなりません。この大事な動作を司る口腔器官を守備範囲にしている私達は『八〇二〇運動』の如き標題をどんどん作成して、世の中にもっとアピールする必要があると思います。

「歯がなくても、歯が悪くても、ご飯は食べられるよ。」なんて云う老人が一人もいなくなる様、がんばりましょう。

花三春

支部だよりを四年振りに発刊することになりました。前広報理事の豊田先生のご尽力により創刊致しましたこの九歯大阪広報も今回で第3号ということになります。

母校を遠く離れた地での同窓の絆のため、広報活動はますます重要性を増してきています。今後共支部会員の先生方のさらなるご指導ご協力をよろしくお願い致します。

ときくしくも不況の真っ只中で、来年度からは構造改革の「痛み」の部分が、我々の分野にも追し寄せてこようとしております。こういう時こそ、同窓の団結力が内からは問われ、又外からは注目される時であろうと思われまます。

皆さん、ここ一番、九州歯科の底力を見せようではありませんか!!



第21回在阪各歯科大学同窓会

役員懇談会

日時 平成12年12月9日(土)午後6時
場所 リーガロイヤルホテル

本支部と東京医科歯科大学歯科大阪府同窓会との二校の当番で、表記懇談会が昨年末に開催されました。出席者130名でした。

本支部副支部長、山本克彦先生、戸倉良樹先生の開会の辞、そして、支部長、鳥羽英紀先生の当番校挨拶と続き、大阪府歯科医師会会長、岡邦恭先生の御来賓挨拶がありました。

そして、乾杯に続き和やかな雰囲気の中での会食となりました。

途中、当番校二校が在阪各歯科大学同窓会を代表して、次期大阪府歯科医師会会長選挙立候補への推薦状を、岡邦恭先生に手渡しました(鳥羽支部長と東京医科歯科大学会長の村井敏人先生から)。

東京医科歯科大学の先生方との協力のもと会を無事に終えることができました。



第21回在阪各歯科大学同窓会役員懇談会



平成十三年度

社保講習会・新年会

日時 平成13年1月21日(日)午後3時
場所 鳥よし

新年恒例の社保講習会には24名の先生が参加され、大阪府歯科医師会常務理事(医療保険担当)の近森信人先生をお忙しい中講師にお迎え致しました。

をされ、続いて堀之内藤彦先生に乾杯のご発声を頂き宴会となり、大いに飲み語らい、同窓会大阪府支部の21世紀の幕開けとなりました。

かかりつけ歯科医初診料を積極的に算定して、歯周疾患治療を進めていって頂きたいとのお話でした。金パラ問題でなやまされている現況ですが、歯冠修復・欠損補綴中心になりがちな保険診療の行為別年次推移の資料を示され、ご説明頂き、またデジタルカメラをご持参され口腔内写真の活用の仕方や保存などご指導頂き、わかり易いご講演をして頂きました。

続いて午後5時より新年会に移り、参加の先生も32名に増え、近森先生にもご同席して頂きました。鳥羽支部長が新年の挨拶



丹羽 均 先生教授就任記念祝賀会

日時 平成13年2月17日(土)午後6時
場所 新阪急ホテル 花一の間



寒さも少しゆるんだ、週末の冬晴れの日の夕方、大学32期御卒業の丹羽 均先生の大阪大学教授就任の祝賀会が、56名の先生方の御出席のもと開催されました。

青木修一先生の司会進行により、発起人代表の支部長鳥羽英紀先生の御挨拶で開宴されました。続いて、副支部長山本克彦先生から御来賓の松浦英夫先生(大阪大学歯科麻酔学前教授)、上田裕先生(大阪歯科大学歯科

麻酔学教授)、濱田傑先生(近畿大学医学部口腔科助教・大26期)の御紹介がありました。乾杯は、兵庫からの弓倉敏輝先生(専19)にお願ひし、歓談、会食へと移りました。

松浦先生からは、丹羽先生の研究姿勢に対する御評価が述べられ、又、これからの時代に合わせた、教室員への指導を期待するなど、ご激励の言葉を頂戴致しました。

丹羽先生は、歯科麻酔学教室(正式には、大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講座)の教授に就任されたのですが、これまで母校出身の数々の先生が、大阪大学で研鑽を積まれ、また今現在多くの先生が在籍しておられます。基礎系、臨床系共、我々一般開業の歯科医にとっては教わることはばかりと思われまますので、機会をお作り頂

いて、ご指導頂ければと望まれます。

宴は、同窓会大阪府支部内輪のお祝いという雰囲気、極めてなごやかに進められ、丹羽先生の同級の木尾哲朗先生(九歯大矯正)も遠路かけつけて下さり、学長内田康也先生よりのお祝いのお言葉も御披露して下さいました。

途中、出席者を代表して鳥羽支部長より丹羽先生を祈念して記念の品を贈呈し、又、丹羽先生からもお力強いご決意と御礼のお言葉がありました。

副支部長戸倉良樹先生の閉会の辞にて祝宴は幕を下ろしました。



平成13年2月17日 丹羽均先生教授就任記念祝賀会

平成十二年度

支部 定 時 総 会

日時 平成13年5月27日(日)午後3時
場所 鳥よし

総会は、副支部長山本克彦先生の開会の言葉にて始まりまし

た。昨年末の在阪各歯科大学同窓会役員懇談会に際しての協力の御礼と、暫く診療を休まれていた下村均先生が本日出席されたことへの喜びのお言葉があり

ました。

支部長鳥羽英紀先生の御挨拶では、大学本部の会長が交替されたこと(新会長 河野博之先生)、互助機構開設の準備などについてお話がありました。

次に、堀之内藤彦先生を議長に選出致しました。

続いて、平成十二年度内における物故会員、専門17回、阿部六朗先生、専門8回、鳥羽長閑先生、そして、長崎林太郎先生と長崎三男先生の御母堂様の三名に黙禱が捧げられました。

議題に入り、会計理事上崎秀美先生欠席による代理として庶務理事西本達哉先生より平成12年度決算報告があり、監事古庄列先生より監査報告も行われ、承認されました。

さらに、平成13年度事業計画



案が専務理事岡谷親男先生より、平成13年度予算案が西本先生より提案され、全て承認されました。

最後に、平成13、14年度役員に関する議案に入り、次期支部長に鳥羽先生の再選を全会一致で決定し、その他の役員についても新支部長案が承認されました。(別表に記載)。

以上の審議を経て、総会は、副支部長戸倉良樹先生より、出席の先生方へ、全議案慎重審議と可決への御礼の言葉で閉じられました。

午後5時より、懇親会並びに新入会員歓迎会が開かれ、福祉理事青木修一先生の楽しい司会の元で、各先生方の近況報告を中心に、大いに語り合い、いつもの鳥よし鍋をおいしくいただきました。25名の出席でした。尚、今回の総会を機に、支部としての会員互助機構開設準備のための委員会を発足致しました。その主旨及び、開設についてのアンケートのお願いなど、続いて記載させて頂きます。

☆九州歯科大学同窓会大阪府支部の会員互助機構開設の主旨
支部長 鳥羽 英紀

目的

一般会員に、疾病・不慮の事故等にて入院治療の必要性が発生した場合等で、診療不能となったとき、その会員ないし家族の希望により、同窓会大阪支部会員相互に互助する精神に則り、患者や地域歯科医療へ



右記のような事例が発生した場合、支部とし、当該会員やその家族に代わり、本会員皆様方への協力要請と時間的割り振り及び常勤できる代診の先生の手配などにお手伝いさせて頂くのです。

つきましては、この会員互助機構開設につきましてのアンケ

の影響をできるだけ少なくしようとするものである。

また、必要な期間常勤できる代診の先生を探す機能も果たす。

トを別紙葉書にて、ご回答下さいますようお願い致します。

※ご質問等何かございましたら、左記の先生方までお願い致します。

【互助機構準備委員会】

岡谷 親男

TEL & FAX

〇六一六四七五―二七二一

谷 泰雄

TEL

〇七二五―三三―七七六六

FAX

〇七二五―三三―七七六七

加藤 聡

TEL & FAX

〇六一六九一三―三〇三三

東 昭平

TEL & FAX

〇七二―二二四―二四一八

平成13年14年度

同窓会大阪府支部役員

支部長

鳥羽 英紀

大15

副支部長

戸倉 良樹

大19

事務理事

山本 克彦

大19

長崎 三男

大29

会計理事

大形 篤広

大33

学術理事

村上 平三郎

大22

阪上 安輝

大21

宇野 一雄

大29

渉外理事

宮尾 俊弘

大22

山上 啓介

大46

福祉理事

松本 元秀

大24

青木 修一

大29

加藤 聡

大33

岡谷 親男

大27

広報理事

下出 秀夫

大29

上崎 美夫

大29

社保理事

長崎 林太郎

大29

谷 泰雄

大31

庶務理事

西本 達哉

大28

黒澤 治彦

大30

東 昭平

大38

モニター

青木 修一

大29

監事

古庄 列

大7

丸山 輝

大14

平山 稔

大17

崎田 臣

大3

堀之内 藤彦

大5

松本 泰雄

大9

小野 善弘

大20



会員だより

偶 感

県立3回 本田 光徳

I. T. 時代と言って、私共老人を大変悩ませている。既に歯科医療の業務を離れて、やっ

と自分の好きなことなどをやってみると、さてさて、活字離れが、こんなに進んで了っているかと思うと、少々うんざりしてきた。

パソコンをやって、インターネットそしてホームページとなると、かつて得意であった活字と語句の使い方が、実に単にして速に、そして正確に出てくる。時には音訓によって間違っていることもあるが、一寸気をつければ、全く誤りなく伝達されるのである。

いる。
こんな最新の時代にとっては全く単純なと思える医療過誤というか事故の報告が多々ある。そのような事故を未然に防ぐには、どうしたら良いかと問われれば、当然のことであるが、医師のモラルもあるが、日常の研究や努力が必須であろう。

私共歯科界でも同じように色々な事故などが報告されているが、その殆どは技術の未熟よりは失敗が大半を占めているのではないかと思っているが、患者との信頼関係が大きな要因となっていることもある。

最近のことであるが、患者は一応納得して、インプラントをして貰った所、少し工合が悪いので、主治医に相談したが、余り説明が不十分だったので、止むなく、或る病院に行つて診察の結果、その歯科医は主治医に一言の連絡なしに、インプラントが悪いと言つて除去して、了い、義歯をして貰った。そして患者が主治医に苦情を訴えているという例である。

この件は三者のうち誰れが悪

いということよりも、後者の歯科医が、勝手なことをしないで、主治医と協議してから、対処すべきものと思いますが、いかゞなものでしょうか。

医療行為は医師と患者との信頼関係による契約であることだと思います。以上

(H13年6月)



バンクーバー便り

大34期 楠原光珍

同窓会の諸先生方、お元気でしようか？

私、思う所あり、バンクーバーに移住しまして、早8ヶ月に

なりました。この度、会報への原稿依頼を頂いたのですが、何を書けばよいのかわからないので、ここで暮らしてみていることをお知らせします。

バンクーバーは6、7個の市が集まってできた「府」であり、私が少し知るようになったのはバンクーバー市とリッチモンド市で、他はまだほとんどわからない状態です。

この両市の特徴は、中国系の住民が非常に多いという事です。中国、台湾、そして香港系。不動産なら50、60%位は中国系の人々が所有していますし、政府としての第2国語はフランス語なんです。ここでは全く使われず、マンダリン（北京語）、カントニーズ（広東語）、タイワニーズ（台湾語）が我が物顔で街を占領しています。

多民族国家といいますが、この辺りは、中国系VS白人 という図式が成り立っており、若い世代はともかく、年配の方の中には、バンクーバーとリッチモンドは中国に占領されている、と感じている人が実際少なから

ずおられます。ある白人の男性がコンビニの店員に応募したところ、マンダリンができないために不採用になった、という話も聞きました。ただ、中国系の経済パワーがもの凄いの、市としても文句を言えない、と言った所です。「うーん、恐るべしチャイナパワー」。

暮らしに関しては、日本に比べ物価も安く、全てがゆったりとしているため、我が家にはとても快適な状況です。道路も広くて空いていてドライブが楽しいです。消費税が14%と高いのが辛い所ですが、公共の施設、その他に還元されているのがよく実感できるので、まあ辛抱できます。

コミュニティーセンターや図書館はとても充実していますし、公立学校は高校までタダです。永住権を持っている人には、各種講習など、まったくシチズンと同じ扱い、料金になります。ありがたや。ありがたや。

子供たちの学校の先生数人とも話し合う機会が多くありますが、どの先生も一人一人の子

供の適性を良く見ながら、よく指導されるように思えます。まあ、一クラスの人数が少ないからできるものや、と言えませんが。お会いした殆どの先生が Everyone is unique. と言っていました。「あんたもなかなかユニークやで」と、つつこみを入れようと思いましたが、恥ずかしいので、やめました。

子供たちが英語がわからなくても、Of course, it's ok. と言ってくれる人が殆どですが、大人は英語ができないと、ハッキリなめられます。時に露骨にバカにした表情をする輩が多いです。

永住権を取るのに随分大変でした。1から10まで自分で、弁護士等に相談もしなかったの、時間と根気が要りました。こちらに来てびっくり、何と歯医者という仕事は移民認定の職業リストに載っていないので、法律的には、そんな不可能や！おかしい！と、あるおっさんに妬まれました。そんなもん知るけ!! 弁護士は高い金取っても、あてにならないもんや。心からそう思いました。まあ、でも最近実

際、日本人の経験十分の看護婦さんが、その理由で移民審査に落ちてました。うーん、何やわけわからん。

今はこちらに移住して本当によかったと感じています。永住するつもりで、家族で来ました。が、たまに日本に帰ることもあらず、かと思えます。できれば、同窓会の会合と日程が重なり、鳥よしで諸先生方と、鳥よしの榮子おばちゃまと、鍋をつつきながら談笑できる機会があることを心から祈っています。諸先生方のご健勝と益々のご発展をお祈りしながら……

(平成13年1月)



(平成2年6月の「楠原先生と良治君」)

お願い

会員先生方とより緊密に、より迅速に通信させて頂く為に、従来の郵送による広報活動等に代わり、FAXや電子メールを中心としたものに変えて行きたいと思えます。ご協力の程、宜しくお願い致します。

編集後記

◎西日本一の新付属病院も完成して早や二年、数々の実績を挙げられているとのことですが、莫大な水道光熱費が悩みの種だそうです。

◎今回は、平成12年度の大阪府支部の動向を追わせて頂きました。今年度は、和歌山県立医科大学口腔外科学教授に大学29期卒の藤田茂之先生、そして、大阪大学に丹羽先生と、お二人の教授御就任の朗報がありました。

◎21世紀は、支部会員一致団結して、希望のもてる世紀と致しましよ。

◎編集作業に多くの先生方の御協力を頂きましたことに対し御礼申し上げます。(編集委員会)